

ありがとうの気持ち

～一人一人が感謝の気持ちで行動していくとどんな未来につながるのだろう～

校種・学年	小学校・第3学年	教科等	道徳科
時間・学期(月)	1時間・後期(11月)	副読本	P11
準備等	アンケート・場面絵・拡大掲示教材文・給食を支えてくださっている方々の写真・吹き出しカード・環境パンフレット拡大絵・給食に関わる新聞資料		

1 わらい

自分達の給食を支えてくれている人々が、それぞれどんな思いで毎日仕事をしてくれているのかを話し合う活動を通して、これからの自分にできることは何かについて考え、感謝の気持ちをもって行動していこうとする態度を養う。

2 伸ばしたい資質・能力

- 見えないところで日々の生活を支えてくれている人々の存在に気づく力
- 支えてくださる人々の立場に立って考え、話し合う力
- 多様な考えに触れ、感謝の思いを深めながら、自分にできることを考え行動しようとする力

3 指導計画(全1時間)

時間	主な学習活動・内容等
1	○他者への感謝の気持ちもってどのように行動するかを考えて、実践しようとする意欲を高める。(自分の生き方に結びつけて考える)

4 本時の学習指導(本時 1/1)

時間	学習活動	留意点 ★冊子の活用等
5	<ul style="list-style-type: none"> ○意識調査 ○本時の課題を知る <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 一人一人が感謝の気持ちで行動していくと どのような未来につながるのだろう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○アンケート結果を見せ、『感謝』について、いろいろな意識があることを知る。
20	<ul style="list-style-type: none"> ○話題をもとに話し合う <ul style="list-style-type: none"> ・なぜそこまでして、おいしい野菜を育てたいのでしょうか。 ・自分達の生活(給食)を支えてくれている人は、皆さんの周りにどれくらいいるのでしょうか。また、その人たちはどんな思いで毎日仕事をしてくれているのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○グループでの話し合い 吹き出しカード
10	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習課題について考える <ul style="list-style-type: none"> ・感謝の気持ちを大切にしながら、一人一人が行動していくと、どのような未来につながると思いますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ★P11「ストップ温暖化」 ゴミをめぐる環境問題 感謝の心は、地球を守ること 感謝の思いを形に表すことは、私たちの未来に(環境問題)にも深く関わることに気づかせる。
7	<ul style="list-style-type: none"> ○自己を振り返る <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの自分を振り返って ・これからの自分にできること ・どのように生きていくとよいか 	
3	<ul style="list-style-type: none"> ○教師の説話 	



5 他教科等とのつながり

○食育（残さず食べよう）

6 社会とのつながり

○栄養教諭の講話
 ○給食センターへのインタビュー
 ○家庭や地域の人たちとの対話

7 おすすめのポイント（さらに、効果アップ！）

- 家庭や地域の方に、調べたことを伝えるとともに、これからについて一緒に考える機会をもつと、学習がより深まる。
- 学習したことを基に自分たちにできることを選択・判断させるために、学習前の自分の考えを記録し、活用することで、学習を通して自分の考えがどうなったのかが実感できる。
- 自分の考えの変容が、具体的な行動にどう表れるかについて、「エコライフデー」を活用するとよい。

8 授業後の児童の感想、参観された方の感想など

- 道徳ワークシートより
 - ・給食を毎日感謝の気持ちで、残さず食べれば CO₂を増やさないことにもつながるんだと思いました。温暖化をとめることにもなります。だから作ってくれた人の心も、食べ物の命も、未来の地球も大切にしたいです。
 - ・ありがたい心で食べることを未来の子供たちにも伝えたいです。食べ残して、温暖化も進んでは困るし、感謝の心は、未来の子供たちの暮らしを守るためにも大切なことだからです。
 - ・私は食べ残しや好き嫌いが多かったです。でも、育ててくださっている方や、作ってくださっている方の気持ちに気付いていなかったと思いました。生き物の命を捨てることにもなるので、残さないようにしたいと思います。未来の子供たちのためにも、感謝の気持ちを伝えていきたいです。

9 研究協議の内容

- 子供たちが、一生懸命に給食を支えてくださっている人々の気持ちを考えていた。吹き出しカードに書いたことを見える化したことでの気付きは大きかった。
- 感謝の気持ちを大切にしながら、一人一人が行動していくとどんな未来につながると思う？の問いに、子供たちは真剣に向き合っていた。これまでの自分を振り返りながら、これからは自分にできることをカードに書いていた。
- 感謝の価値と環境問題に関わる思考の広がりの手助けとなる新聞記事や、パンフレットの拡大、地球の絵カード等の教材の効果も大きかったと感じられた。

